

成長戦略が一步前進！～大阪3港の競争力強化へ！～

経済の動脈である物流。池下卓がサブリーダーを務める「港湾改革プロジェクトチーム」が実績を挙げた。

大阪湾における物流の効率化に向け、大阪府、市が管理する3港(大阪・堺泉北・阪南・各港)の施設などを一体で整備し、国際競争力を高める。これまで、池下卓らが公開討論会や知事、市長への提言を行ってきた。今秋の府市それぞれの議会に関連条例を提案し、来春にも「大阪府市港湾委員会」(仮称)が設置される。大阪の経済活性化のため、さらに前進させていく。



港湾の一元管理により物流機能を高める

府が高槻市へ補助するよう提言 ～子ども医療費助成～

高槻市では子どもへの医療費助成について今まで対象年齢が12歳(小学校卒業)だったのが15歳(中学校卒業)までに引き上げられる。

対象年齢引き上げに伴い負担が大きくなる高槻市だが、予算がいくらでもあるわけではない。そこでできるだけ高槻市の負担を減らすために池下卓府議会議員らは市区町村への大阪府の補助を拡大するように知事に提言、知事から「来年度より支援を拡充できるようにしたい」と前向きな回答をいただいた。

※ 助成を受けるには『子ども医療証』の交付が必要です。助成対象者の健康保険証をお持ちになって、高槻市役所『子ども育成課』または支所窓口で手続きを行って下さい。

大阪府議会議員 池下 卓のプロフィール

【経歴】1975年高槻市山手町で父・節夫、母・友子の次男として生まれる。
高槻市立磐手小学校
高槻市立第八中学校
府立高槻北高校 卒業
龍谷大学大学院 修了。

専門学校講師、税理士事務所を経て税理士資格取得。大阪府議会議員(1期目)
現在は、高槻市古曽部町に在住。

【役職】

教育常任委員 (平成23年度)
商工労働常任委員(平成24年度)
決算特別委員 (平成24年度)
府民文化常任委員(平成25・26年度)
政務調査役員 (平成25年度)

【その他】

高槻市消防団 磐手分団山手班
(社)高槻青年会議所、
商工会議所青年部に所属



特集 「大阪都構想とは」

「大阪府市再編で生まれるお金の話」

「大阪都」になれば、特別区には20年後に2900億円以上の再編効果と、1300億円以上の活用可能財源が生まれます。

では、新たな広域自治体

「大阪都」には？



府・市による財政シミュレーションによると、845億円もの活用可能財源が生じます。

私たちはこれらを次世代のための新たな投資にもしっかりと活かしていきます。



再編効果と現状維持を比較

再編効果額

平成45年までに
約**2917億円**

活用可能財源

平成45年までに
約**1375億円**

現状維持

莫大な借金

都構想が実現しないと
平成45年までに
約**2323億円の赤字**



大阪の現状

- 一人あたりの負債規模 1.4万円
- 無駄な公共投資 総額 1兆6千億円
- 府民所得 10年間で6.7万円減

